



昨年の備中たかはし松山踊りにて、職域・団体連コンテストでは最優秀賞に。

伝統の踊りを受け継ぐ

巨瀬祇園踊り保存会



「松坂踊り」。練習には会員のお孫さんが参加することも。

巨瀬町の夏には欠かせない「祇園踊り」。300年余り続くという祇園踊りは、江戸時代、全国的に盛んだった「お伊勢参り」に出かけた巨瀬の人々が伊勢国の踊りを持ち帰ったとされ、地域の娯楽として祇園寺の夏祭りでは踊るようになり、祇園踊りと呼ばれるようになりました。

この伝統の踊りを保存し、後世へ継承していくと活動しているのが、巨瀬祇園踊り保存会です。昭和40年ごろに組織された保存会によっても継承活動が行われていましたが、その活動もいつしか途切れていたので、平成12年に新たな会を結成しました。会員は現在42人。毎月第2・4木曜

日の午後7時30分～9時に、巨瀬地域福祉センターで、和気あいあいと心地よい汗を流しています。

祇園踊りには、ゆつくりと優雅に踊る「扇子踊り」「手拭踊り」、華やかな「松坂

踊り」、テンポ良いリズムの「二つ拍子」「四つ拍子」の5つの踊りがあります。

以前は「扇子踊り」「松坂踊り」「四つ拍子」の3つが踊られていましたが、今の保存会を結成して地域のお年寄りに話を聞く中で「手拭踊り」「二つ拍子」があることが分かり、昨年からの2つにも取り組んでいます。

祇園踊りを広く知ってもらおうと、各地で行われるイベントへも積極的に参加。8月9日に開催された有漢町納涼ふるさと祭でも踊りを披露しました。このほか、子どものころから祇園踊りに親しんでもらいたいと、幼稚園や小学校に出向き活動を行っています。

「健康のため、ストレス発散など、みんないろいろの思いで参加しています。踊りを通じて会員同士、また他地域の皆さんとの親睦を図れるのがいいですね」と話す大見敦子さん(67)。

松森勇さん(67)は「2年前にUターンし、踊りが好きで、地域の皆さんの顔を早く覚えたいとの思いもあり参加しました。踊りはまた間違えることもありませんが、楽しんでいきます」と話します。

また、「今は男性が9人なので、男性にもどんどん参加してほしいですね。みんな都合のつく範囲で自由に参加していますので、若い人も気軽に参加してもらえれば」と野見邦男さん(63)。

伝統の踊りは、地域の皆さんに親しまれ、大切に受け継がれています。

学園だより

看護師を目指してみませんか？

～あなたの優しさを求めています～

「人と関わることが好き」「人のために何かしたい」と思っている皆さん、看護師の道に進んでみませんか。順正高等看護専門学校では、そんなあなたを待っています。

今までの経験を生かし、やりがいある仕事をやってみたいと思っている社会人も大歓迎です。社会人の皆さんが受験しやすいAO入試もあります。

なお、9月23日(火・祝日)にオープンキャンパス(学校見学会)を開催します。どんなことを学ぶかなど学校生活を見学できますので、ぜひご参加ください。

<入試日程>

入試区分	受付期間	入 試 日	合格発表日	備 考	
AO	一次	8月28日(木)～9月10日(水)	9月14日(日)	9月19日(金)	オープンキャンパス 参加者対象(専願)
	二次	9月16日(火)～10月1日(水)	10月5日(日)	10月10日(金)	
	三次	10月9日(木)～10月22日(水)	10月26日(日)	10月31日(金)	
推薦A(特待生選考)	10月6日(月)～10月29日(水)	11月2日(日)	11月7日(金)	併願可	
推薦B	11月10日(月)～11月27日(木)	11月30日(日)	12月5日(金)		
一般Ⅰ期	1月9日(金)～1月28日(水)	1月31日(土)	2月6日(金)		
一般Ⅱ期	2月2日(月)～2月18日(水)	2月22日(日)	2月27日(金)		

※講義内容や入試の詳細等は、下記へお問い合わせください。

■問い合わせ 順正高等看護専門学校(TEL②8065)

編集後記

「暑いですなぁ」。この夏、何回言ったことでしょうか。気象庁の発表では、西日本7月の平均気温は1946年に統計を取り始めて以降、7月としては3番目の高温だったそうです。よくいわれる地球温暖化の現象なのでしょう。

さて、今月号では市の農業を取り上げました。取材では「高齢化」「後継者不足」「農地の荒廃」といったキーワードをたびたび耳にし、農業が抱える問題の深刻さ

をうかがい知ることができました。子どもたちの食事の後、お茶碗にご飯粒が残っていたら親にひどく叱られたものです。今、自分が親になり、こうした大事なことをきちんと教えていないように感じます。

もともと私たち大人が食の大切さ、生命の尊さなどから、農業の持つさまざまな価値を、子どもたちに伝えていく必要があるように思います。

(N・K)

まちの伝言板

愛らぶ高梁ふれあい広場



高梁市青年経済協議会
会長 平松久幸さん

毎年恒例となった「愛らぶ高梁ふれあい広場」。今年で33回目を迎えます。

今年のキーワードは『自然』。会場となる高梁幼稚園では、子どもたちに人気のあるクワガタやカブトムシの展示と触れ合いブースが設けられ、紺屋川ではアユのつかみ捕りがあり、その場で炭焼きにして食べることもできます。

このほか、ラミネートを使って作る押し花ブース、子豚との触れ合いブ

「子どものころ、虫捕りや魚釣り、草花で髪飾りを作って遊びましたよね。自然の中で遊んだ、あの素晴らしい体験を思い出してもらえるイベントです」と会長の平松さん。詳細は次のとおりです。

▽日時：9月7日(日)
午前9時～午後2時

▽会場：高梁幼稚園および紺屋川周辺

※駐車場はありませんので、ご注意ください。

■問い合わせ 同協議会事務局
田中さん(090-7137-11567)